

IETFへようこそ！

あなたは道路の突き当たりにある小さな煉瓦の建物の前に立っています…
(ARPANETの時代にPDP-10で初めて作られたテキストアドベンチャーゲーム「Colossal Cave Adventure」の冒頭の一節より)

原文：Mike St. Johns

訳文：ISOC Japan Chapter IETF Education Working Group
根本 貴弘 (青山学院大学)

IETF 100
Singapore



本訳文は日曜日に開催されるNewcomers' Orientationの理解を助けるための参考資料です。正規の内容につきましては原文資料を参照下さい。(特に"IETF Note Well"が定める規則は原文の内容に従う必要があります)

IETF Note Well

投稿者が公開することを意図してIETFに投稿したInternet DraftやRFCの全てないし一部及び、IETFに係る活動の中での発言は、“IETFへの貢献 (Contribution)”とみなされます。前述の発言の中には、IETFセッション中の発言だけでなく、時間や場所を問わず以下に宛てられた文書やオンラインでのコミュニケーションも含まれます:

IETF plenaryセッション;

IESGもしくは、IESGのメンバー;

Working Groupやデザインチーム、IETF主催のもと活動している各種メーリングリスト;

IETF Working Groupもしくは、その一部;

Birds of a Feather (BOF) セッション;

IABもしくは、IABのメンバー;

RFC Editorもしくは、Internet Draft関連作業係

全てのIETFへの貢献はRFC 5378とRFC 3979 (RFC 4879により更新) の規則の対象となります。

IETF外(セッション、メーリングリスト、他の関連ミーティング等以外)での発言で、明らかにIETFの活動・グループ・関連ミーティングに向けた意見提供を意図していないものは、本通知 (Note Well) の範囲における「IETFへの貢献」には該当しません。詳しくは、RFC5378とRFC3979を参照して下さい。

IETFの活動に参加する者は、Best Current Practices RFCs や IESG Statements にある全てのIETFの処理規則を承認したのみなします。

IETFの活動に参加する者は、ミーティング中に記録された文書や音声、映像が一般に公開される可能性があることについて同意します。

<https://www.ietf.org/about/note-well.html>



本チュートリアルの範囲

IETF初参加者にとってすぐに役立つ情報を提供します

IETFの歴史は扱いません

IETFの歴史については以下を参照してください:

The Tao of the IETF (URLはスライド後半に掲載しています)

もしくは、昔から参加している人にビールを一杯おごって話を聞いてみてください

標準化文書の書き方は扱いません

標準化文書の書き方については以下を参照してください:

<https://www.rfc-editor.org> – For Authors

緊張せず、不満なく、あなたの時間と機会を最大限に有効活用するための方法を紹介します



もくじ

The IETF

IETF vs. 他の標準化団体(Standards Development Organizations: SDOs)

IETFミーティングとエチケット

Working Group vs. Birds of a Feather (BOF)

Working Group (WG) におけるエチケット

IETFとコンセンサス (合意)

重要人物 (Who's Who?)

助けとなる人々

助けとなる文書や道具

IRTFについて

その他のリソース



The IETF

Internet Societyによって組織化されている活動

有志 (ボランティア) による標準化団体

!たくさんの! Working Groupによって構成

Area毎に分類 : Applications and Real Time, General, Internet,
Operations and Management, Routing, Security and Transport

ほとんどの標準化作業はWorking Groupによって行われる

Internet Architecture Board (IAB) は関連団体です (世間的
にはIETFより有名かも)

その他の詳細について - ミーティングに参加する上で、す
ぐに必要になることはありません



IETFの目的

- インターネットサービスの提供，インターネット上のサービス提供に利用される技術の標準化，維持
- 標準に基づく技術が必要な機能を発揮することを保証
- 標準に基づく技術が適切な規模での展開，利用に耐えることを保証
- 標準に基づく技術そのものが安全であり，安全に運用できることを保証
- 標準に基づく技術が制御可能であることを保証

IETF vs. 他の標準化団体(SDOs)

IETF:

投票による意思決定は行わない; 参加者は個人の意思で参加;
正式な国の関与無し; 標準化内容の利用は市場次第; インターネット技術にフォーカス; ボトムアップ

従来 of 標準化団体:

投票によって意思決定を行う; 参加者は国や組織の代表 (個人での参加は困難); 政治的判断あり; 標準化内容の利用は法的強制力あり; 幅広い技術分野や手続き自体や物理的な規格が対象; 概ねトップダウン

従来 of 標準化団体に携わってきた人は、
IETFに参加してカルチャーショックを受けないように心構えをしておいてください!



IETFの“文化”

IETFは、それ以前から存在する昔ながらのSDOとは異なります
インフォーマルな服装，態度が一般的

ネクタイを外し，気軽に！

スマートで意見を持った人が参加

技術的なスキルを持っているとの自己判断で（他人に選ばれる必要は無い）

幾人かの人には，無配慮な発言をします

たいていの場合，それは不作法にはなりません（例外はあります）

しかしながら，ほとんどのIETF参加者は，気にしていません

他の歴史の長い組織と同様，IETFにも文化があります．参加者は，IETFの文化を受容する必要があります．でないと，IETFの文化は，あなたを受け入れないでしょう

無理矢理提起された駄目なアイデアは，いつまでも，駄目なアイデアのままです



IETFミーティング

1000から1500人のIETF参加者が集まるミーティングが、年に3回開かれます

公式イベント:

Working Groupセッション - ~ 130 Working Group

Birds of a Feather (BoF) セッション - セッションの有無や開催されるBoFの種類はミーティング毎によって異なります

IRTFセッション - ~7

Area全体セッション

IETF全体ミーティング

チュートリアル & ランチ セッション

Social Event

Hackathon, Code Sprintとその他関連活動

非公開のビジネス会議 (例: IAB, IESG, IAOC, NOMCOM)

非公開の会議以外は、すべて、誰でも参加可能です



IETFミーティング (続き)

非公式イベント:

廊下やロビーでのミーティング

バーでのBoF (Bar BOF)

マラソン文書編集セッション

“アジェンダを見よう” -

<https://datatracker.ietf.org/meeting/100/agenda.html>

<https://tools.ietf.org/agenda/100/>

IETFアプリを活用しよう！無料のIETFアプリがGoogleとAppleのアプリケーションストアで配信されています。使ってね！



ミーティングにおけるエチケット

推奨 – 他の参加者に対し敬意を持ち，寛容に振る舞いましょう

推奨 – 自己紹介をしましょう

禁止 – 他の参加者に迷惑をかけることはやめましょう

<https://www.ietf.org/iesg/statement/ietf-anti-harassment-policy.html>

推奨 – 迷惑を受けたら，誰かに知らせましょう

禁止 – Welcome Reception, Newcomer's Reception, Bits n Bytes, Social Eventで食べ物の独り占めはやめましょう!

禁止 – 鞆を軽率に置いておくことはやめましょう

推奨 – 寝ること（休息）を忘れないようにしましょう!

推奨 – 楽しむことを忘れないようにしましょう



Working Group vs. BOF

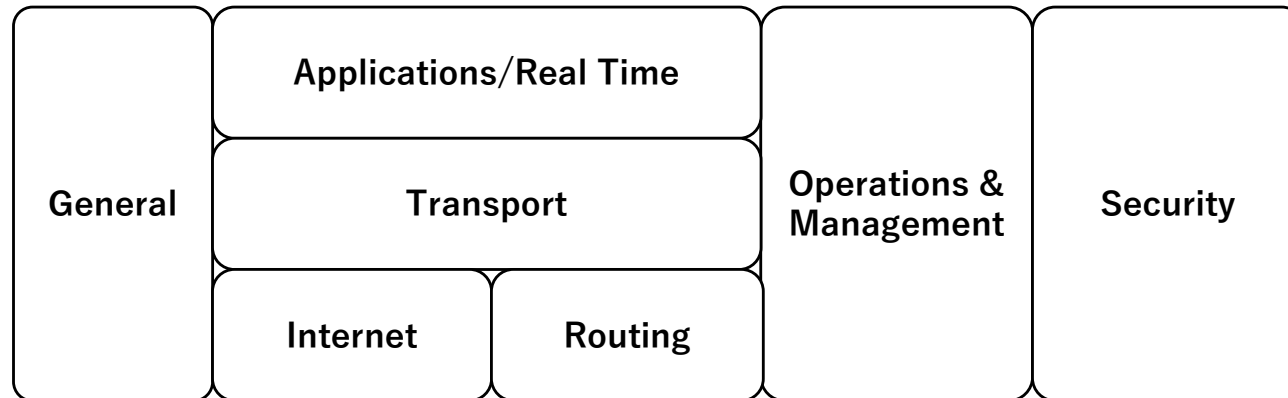
Working Group

- IETFの主な作業が実施される場所
- 理想的には、重要な話題に特化した、直接会って実施されるミーティング
- ボトムアップの構成
 - 普通は、IESGやADやIETFチェアでなくIETF参加者によって提案される
 - (IESGとIABの助言と許可のもと) ADと趣意を話し合う
- 合意された作業計画とスケジュールが存在
- ミーティングとミーティングの間も活動
- 多くの場合、BoFセッション(通例1回)が先に実施されます

Birds of a Feather (BOF)

- 通例、WGの設置前に実施
 - その際、提案WGの趣意書についての検討・議論が実施されます
- 単発ものの議論や、時事話題についての情報報告の場合もあります
- 特定の話題に興味を持つ人々のグループが、ADに対し、あるアイデアが検討するに値すると説得する場
- ADは、BOFの開催を許可する前に、BOFの説明とアジェンダを精査します
- 特定のトピックに関するBOFは、普通は一度だけ実施されます

IETFエリアの分類と関連性



WGセッション

WGが開催するIETF期間中のセッションは、ほんの数時間しかありません

通常、WGセッションでは、未解決の特定の課題のみ議論します
セッションの前に、Internet-Draft (I-D) とメーリングリストを
読んでおきましょう

セッションは、配信され、記録されます

マイクに向かって話すこと (質問者を見つめないこと)

音声のみを聞いている人や、書記のために、マイクで話す際は
毎回名前を告げましょう

”Blue sheet”に名前を書くこと

誰が部屋にいたのかを記録 - オープン性の担保に必要
スキャンされ、投稿されます - 現物は、保存されません

WGセッションにおけるエチケット

推奨 – Blue sheet (出席表) に名前を書きましょう

推奨 – WGの議題とドラフトを読みましょう

推奨 – 聞きましょう (話者が、明瞭に、十分に大きな声で話していない場合に、それを伝えましょう)

推奨 – あなたが、ドラフトを読んで、有用な技術的コメントが有る場合には、気軽にコメントしましょう；簡潔に

禁止 – マイクの独り占めはやめましょう

禁止 – 席を独占することはやめましょう (聞かれたら、他の人が座れるように、鞆をどかしましょう)

控えよう – 関係の無いおしゃべりは控えましょう – あなたは、静かにしていると思っているかも知れませんが、隣人はそうで無いかも知れません

推奨 – WGの Jabber チャンネルを使って質問をしましょう



I E T F®

IETF と コンセンサス (合意)

“我々は、王、大統領、投票を受け入れない。我々は、ラフコンセンサスと動作しているプログラムコードを信用する。”

– David Clark

“We reject kings, presidents and voting. We believe in rough consensus and running code.” – David Clark

”ラフコンセンサス” - ラフコンセンサスは、すべての課題への対応が完了したが、どうしても調整のつかない時に用いられます

ハミング - 投票を用いずにコンセンサスを確認するための方法

セッションチェアは通常、コンセンサスを取るための調整役であるが、WGセッションのコンセンサスよりもWGメーリングリストにおけるコンセンサスの方が強い

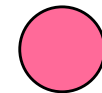
反対意見は聞いてはくれるが、調整はされません

”IETFにおけるコンセンサスとハミング”, P. Resnick,
<https://tools.ietf.org/html/rfc7282>



重要人物 (Who's Who) – ドットの意味

 IAB メンバ (赤)

 IRSG メンバ (ピンク)

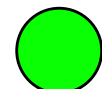
 IESG メンバ (黄色)

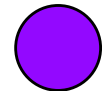
 RFC Series Editor

 Working Group チェア (青)

オンブズマン
(OMBUDSMAN)

 指名委員会 (nomcom) (オレンジ)

 ローカルホスト (緑)

 IAOC メンバ (紫)

IAB – Internet Architecture Board
IESG – Internet Engineering Steering Group
IRSG – Internet Research Steering Group
IAOC – IETF Administrative Oversight Committee
Nomcom – Nominations Committee



質問・手助けOKのIETF熟練者

助けとなる人々

IETF事務局 (IETF Secretariat)

彼/彼女らの援助なしにミーティングは実施不可能！

10名程度の常勤職員と，受付担当

IETFミーティングの管理・運営とミーティング間作業の支援を提供

The Internet Assigned Names and Numbers Authority (IANA)

IETFの最も重要な役割は，プロトコルパラメータの登録

RFC等を書く際，“IANA Considerations”の章が必要な場合には，IANAと*
相談する必要があります* - IANAは，Last Callの際，文書を精査し，その章が基準に達していないと判断した場合には，文書自体を不採用とすることがあります

RFC Editor

Internet-DraftをRFC化する - 発行シリーズには，IETF，IRTF，IAB，個別ストリーム (Independent Stream) があります

RFC Series Editor (RSE)，RFC Production Center，RFC Publisher，Independent Series Editor (ISE) - これらはRFC Editor organizationの一部ではありません



助けとなる人々



PIC
NEEDED
Portia
Wenze-
Danley

The Secretariat & IETF Administrative Director

左から順に: Stephanie, Naveen, Amy,
Cindy, Alexa, Liz, Jasmine, Portia

Group Picture by Richard Stonehouse

IANA Staff



Amanda



Elise



Michelle



Sabrina



RFC People (RSE, Staff and ISE)

左から順に: Heather(RSE), Alice,
Sandy, Nevil(ISE)



助けとなる文書

IETF道 (The Tao of the IETF) – “今更人に聞けない,
IETFについて知りたいことのすべて”

<https://www.ietf.org/tao.html>

<https://www.ietf.org/tao-translated-ja.html> (日本語版)

ミーティング Wiki –

<https://www.ietf.org/registration/MeetingWiki/wiki/ietf100>

EDUチュートリアル –

<https://ietf.org/edu/tutorials.html>



助けとなる文書（続き）

メーリングリスト一覧 –

<https://www.ietf.org/meeting/email-list.html>

初めての参加者向けのメーリングリスト –

<https://www.ietf.org/mailman/listinfo/100-newcomers>

ネットワークに関する情報 –

<https://tickets.meeting.ietf.org/wiki/IETF100network>

(スライドは追って掲載予定)



IRTFについて

Internet Research Task Force (IRTF) はInternet Architecture Boardの取り組みの一つです

IETFよりもより”学術研究性の高い”トピックについて研究します (例えば, 耐遅延ネットワーク (Delay-Tolerant Networking) WGでは惑星間インターネット通信について研究していました)

IRTFのResearch Group (RG) はIETFミーティングと場所を共有しています

IRTFのミーティングはIETF参加者であれば傍聴人として参加可能です。しかし, いくつかのミーティングはIRTFメンバー限定となっています



その他のリソース

Newcomersページ –

<https://www.ietf.org/newcomers.html>

前回の初参加者向け説明会のビデオもあります

Toolsページ –

<https://tools.ietf.org/>

Jabber –

<https://www.ietf.org/jabber/index.html>

同僚者プログラム –

<https://www.ietf.org/meeting/companion-program.html>



初参加者向けの取り組み

Newcomer's Meet and Greet

Welcome Receptionの前に開催されます;
参加者は, 初参加者, WGチェア, AD, IAB
詳細はアジェンダを見てください

Newcomer's Dinner

初参加者向けの非公式なディナー;
集合は月曜日の20:00にIETF受付デスク前
徒歩圏内の手頃な価格帯のレストランで開催
参加や質問の連絡はNaveen Khan (nkhan@amsl.com) 氏まで

メンタリング

<https://www.ietf.org/resources/mentoring-program.html>



Local Cautions

歩き回っても安全です

ドラッグやチューインガムに関する厳しい法律があります！

ポイ捨ては罰金を科せられるか，社会奉仕活動を命じられます

野良WiFiに接続しないように - サービスの不正利用とみなされます

表示がある場合を除き，公共の場では禁煙です

所持品の盗難にご注意を！カンファレンスルームにいても，です



I E T F



入門

会場ネットワークとJabberの使い方



会場ネットワーク

大抵の場合、会期中IETFでは、会場ホテルの有線・無線ネットワークを乗っ取り、独自のネットワークを運用しています

だいたい日曜の朝方から金曜日の正午頃まで利用できます

SSID: “ietf”や“ietf-hotel”, 名前に“ietf”と付くものが数種類あります

セキュアネットワーク用認証情報: ユーザIDは“ietf”, パスワードは“ietf”, セキュリティモードはWPA2-Enterprise

Terminal room (端末室)には、端末はありませんが、プリンタや有線接続環境があります。そして、助けてくれる人々がいます！

より詳しい情報はこちらから入手できます:

<https://tickets.meeting.ietf.org/wiki/IETF100network>



I E T F®

Jabber (XMPP)

IETFでは、多くのIETFミーティング用チャットルームとしてeXtensible Messaging and Presence Protocol (XMPP) を使用しています

Step 1: クライアントソフトの入手:

<http://xmpp.org/software/clients.html>

Step 2: アカウントの登録: <https://list.jabber.at/>

Step 3: チャットルームへの参加: (通常の手式 ->)
<wgname>@jabber.ietf.org

質問やリモート参加者向けに議論中のスライドのページを伝えるために使用されます

疑問点やコメントについて

アンケートにご協力ください

<https://www.surveymonkey.com/r/100newcomers>



日本語訳への貢献者(Contributor)

- 根本 貴弘 (青山学院大学)
- 藤崎 智宏 (ISOC日本支部)
- 林 達也 (株式会社レピダム)
- 木村泰司 (一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター)

このスライドではIETF95以降の日本語訳作業にご協力頂いた方の名前を記載しております。
原文資料には本スライドに該当するスライドはありません。



I E T F®